

土台は大丈夫ですか？

(マタイ7・24〜27)

一、だれに対して語られた？

24節から27節の聖句は、とても重たい内容です。と言いますのは、24節で、主イエスが「わたしのこれらのことばを聞いて」と、おっしゃっているからです。〈これらのことば〉とは、何を指すのでしょうか。主イエスが山の上で語られたことはです。そのことばは、どこから始まっているのでしょうか。5章です。5章1節から3節に次のように書かれています。〈その群衆を見て、イエスは山に登られた。そして腰を下ろされると、みもとに弟子たちが来た。そこでイエスは口を開き、彼らに教え始められた。〉心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。と。ちなみに、1節の〈その群衆を見て、イエスは山に登られた。そして腰を下ろされると、みもとに弟子たちが来た〉という記述からは、イエスが語られたのは群衆に対してではなく、弟子たちに対してであったとも読めてしまいます。ですが、7章28節を見ますと、そうでなかったことが分かります。〈イエスがこれらのことばを語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。〉と書かれているからです。〈これらのことば〉は、だれに対して

語られたのでしょうか。弟子たちだけでなく、群衆に対しても語られました。

二、真意はどこに？

24節を「ご覧ください。」(ですから、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にたとえることができます。〉と、主はおっしゃいました。

私たちは次のように受け止め、子供たちにも語ってきたのではないのでしょうか。「皆さん。みことばは、聞くだけではだめです。行なう人になりましょう。行なう人は、岩の上に家を建てた人にとえることができます。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を襲っても、家は倒れませんでした」と。ですが、みことばに聴くとは、みことばを行なうことです。みことばを聞いても、行いが伴っていないのは、みことばに聴いていないのです。みことばとは聖書のことばであり、聖書のことばの中心はイエス・キリストの福音です。みことばに聴いた人は、だれから強要されるまでもなく、みことばのとおりに生きたいと願うようになります。そういう人は「賢い人」です。別のことばに置き換えるなら、「賢明な人」、「思慮深い人」です。

では、みことばに聴くとは、どういうことなのでしょう。答は一つではありませんが、こういう事かと思われま

す。一つは、「主がおっしゃったとおりになりたい」と願い、不思議な力が与えられることです。その場合、本人には「私が出した」という気持ちは露もありません。もう一つは、神の前に「私にはできません。私には人を赦すことも、人に對して寛容になることもできません。罪人の私を憐れんでください」と降参することです。そうしますと、そこから神の恵みの働きが始まります。「私にはできない」と認めた時、神の前に義とされるのです。すなわち、受け入れられるのです。何とも、不思議です。

三、主は何とおっしゃったか？

25節を「ご覧ください。」(雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を襲っても、家は倒れませんでした。岩の上に土台が据えられていたからです。〉とあります。主イエスは何を思い描いて、このことをおっしゃったのでしょうか。人生には試練の時もあると、そういう意味でおっしゃったのでしょうか。否、もっと大きな意味で語られました。主の日のさばきのことを思って、語られたようです。と言いますのは、少し前の22節で、〈その日には多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』と語られているからです。

〈その日〉とは、主の日、主のさばきの日です。23節でも語っておられます。〈しかし、わたしはそのとき、彼らにはつきりと言います。『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行なう者たち、わたしから離れて行け。』と。〉(そのとき)も、主の日を指しています。

キリストの再臨の日に、主のさばきが、すなわち、判決が下されます。その日に、主イエスが語られたことばに聴いていたか否かが、はつきりします。

ということとは、その日が来るまでは、みことばに聴いて、主の御意思を尊重して歩んで来たか、反対にみことばに聴いて歩んでいないか、思っていたけれども、主の御思いを理解せずに来たのか、自分から言えぬとも言えます。

主イエスが語られたことばを聞いて、それを行なう者とは、主が語られることばをしっかりと聴いて、みことばの真意を悟る人です。そういう人は、岩の上に自分の家を建てた賢い人にたとえることができます。

きょうの聖書箇所は、簡単なようで、実はむずかしいです。なぜむずかしくなってしまったのか。それは、みことばを聞くことを行なうことを、分けてしまったところにあるのではないのでしょうか。みことばに聴いている人は、実は行っている人です。そういう人は、岩の上に信仰の家を建てています。